

感謝の気持ちで、球児の舞台と己の心身を整える

長年にわたり続けてきた、川根野球場の清掃。自主的にごみ拾いや草むしりを続ける中村さんは、その地道な活動をたたえられ、昨年度、島田市表彰を受章されました。

【地域に広がる支えの輪】

「私は目立つのが嫌いでね、下ごしらえが好きなんです。よ。御輿ごしを造ったり、祭りの準備はいくらでもやるけど、実際に表舞台に立ってワイワイやるのは苦手なんです。だから、自分がやった仕事や作業で、みんなが楽しめたらそれでいいんだよ」こう語る中村さんは、30年も前から川根野球場の清掃活動を自主的に続けています。

野球場ができた頃の利用者のマナーの悪さを見かねて、捨てられた空き缶を拾い集めたことが、中村さんが活動を始めたきっかけです。「自分では野球をやったこともないのに、気づいたらグラウンドの草むしりを始めていて…や

っぱり下ごしらえが好きなんだね」中村さんの地道な作業を見た隣近所の人たちも、いつの頃からか、トイレ清掃やごみ拾いを一緒に行ってくれるようになりました。

が、小学校に入って始めたソフトボールで強くなった。大声も出すようになったから、いろんなスポーツや活動で、自分から積極的に行動できるようになったんだ。それと、



川根野球場 美化活動ボランティア
中村保なかむら たもつさん（川根町家山）

【グラウンドが持つ力】
「この野球場に助けられたことがあるよ」とグラウンドを見つめながら語る中村さん。「幼いころ、体が弱くてぜん息持ちだった息子の体

私自身も3年ほど前に発症した頸椎損傷けいついから復活させてもらってね。全身麻痺まひにまでなった体が、手術後に再開した清掃活動で、以前よりも元氣なくらいにまで回復できたん

だ。息子の成功と、もらった命の大きさを考えたら、この野球場に恩返ししたくなるのは当たり前だね」

【若人とともに】

中学選抜野球大会で優勝した川根・北中合同チームの快挙を、笑顔で振り返る中村さん。「川根中学校の野球部が活躍してくれることが一番嬉しい。今の野球部が強くなったのは、熱心に指導してくれている先生のおかげです。私は、このグラウンドで元気に走り回る選手を見て、ホッとしているだけでした。まだまだ、活躍するはずだから、生徒たちのためにも草むしりを頑張らないとね」野球部員の活躍は、清掃活動を続ける中村さんの原動力です。

「野球を教えることはできないけど、好きで続けているこの下ごしらえで、縁の下の力持ちになれたのなら、私はそれだけで嬉しいです。選手たちの今後の活躍を期待します」と額に汗をにじませながら、優しい笑顔で話してくれました。



グラウンドの草刈り

Shimadian File #25

